

## 令和5年度第5回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和6年2月6日（火）午後2時～午後3時
- ・ 場 所 埼玉会館 ラウンジ
- ・ 出席委員 9名
  - 【被保険者代表委員】  
青木委員、岡安委員
  - 【保険医又は保険薬剤師代表委員】  
小室委員
  - 【公益代表委員】  
渡辺委員、山崎委員、伊藤委員
  - 【被用者保険等保険者代表委員】  
増尾委員、榎原委員、渡邊委員

### 1 議事（1）令和6年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について <事務局>

- ・ 資料1により、令和6年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について説明。

#### 【主な質疑・意見】

- ・ 財政安定化基金から約21億円を取り崩すことで残高が大幅に減るが、来年度以降における保険税の激変を緩和する手段は考えているか。
- ・ 一人当たり保険税必要額が大きく増える市町村について、県は、丁寧に市町村からの相談に乗り、十分な助言をしてほしい。

### 2 議事（2）埼玉県国民健康保険運営方針（第3期）の策定の報告について <事務局>

- ・ 資料2により、埼玉県国民健康保険運営方針（第3期）の策定の報告について説明。

#### 【主な質疑・意見】

- ・ 国保は社会保障であるという理念に立ち、県民の命や暮らしが守られるよう、県であらゆる手段を検討し対策を講じてほしい。
- ・ 医療費が今後も増えるとなると、より一層、医療費適正化が重要になる。
- ・ ジェネリック医薬品の供給が不安定であるため、使用割合を上げていくことは難しいと思う。
- ・ 医療DXにより、今後、データヘルスが発展していくと思うが、そのためにはマイナンバーカードによるオンライン資格確認の浸透が必要である。
- ・ 今後は特定健康診査や特定保健指導などの予防医療に重点を移すことが重要な課題だと考える。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率が落ち込んだが、効果的に向上させる方策を考えてほしい。